

『港区教育史』くらしと教育編の刊行及び
完結記念講演会の開催について

報告内容

『港区教育史』くらしと教育編を3月1日（水）に刊行します。また、『港区教育史』完結記念イベントとして講演会を開催します。

港区教育委員会では、平成28年度より港区の地における150年を超える教育のあゆみを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすい、後世に語り継いでいける『港区教育史』を編さんしています。

いよいよ、今年3月1日（水）に『港区教育史』最終巻となるくらしと教育編（全1巻）を刊行します。

また、『港区教育史』完結を記念して、講演会を開催いたします。

1 くらしと教育編（全1巻）の刊行について

- (1) 刊行予定日 令和5年3月1日（水）
- (2) 仕様 A5判、ソフトカバー、モノクロ（口絵カラー）330頁
- (3) 刊行部数 380部
- (4) 販売価格 3,500円（非課税）
- (5) 販売場所 区政資料室（港区役所3階）、麻布・赤坂・高輪・芝浦港南地区総合支所、郷土歴史館

2 完結記念講演会について

令和5年3月19日（日）に、伝統文化交流館にて「これからの港区の教育～『港区教育史』の編さんを通じて～」をテーマに講演会を開催します。（オンラインによる参加も可）

デジタル港区教育史

DIGITAL EDUCATION HISTORY OF MINATO CITY

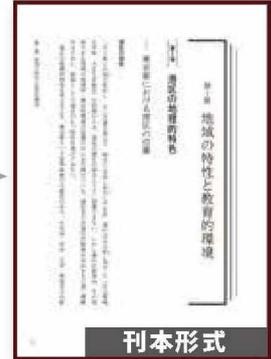
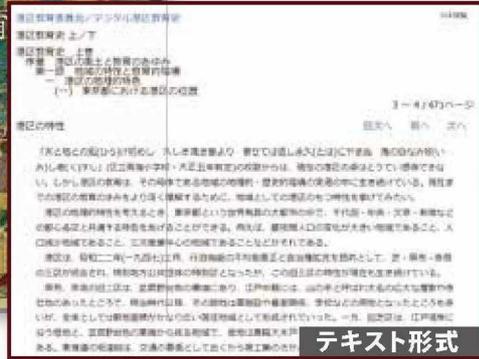
港区の教育の歴史を今と未来に伝えるデジタルアーカイブ

インターネットで
港区教育史と
関連資料を
閲覧できます！
だれでも、どこにいても

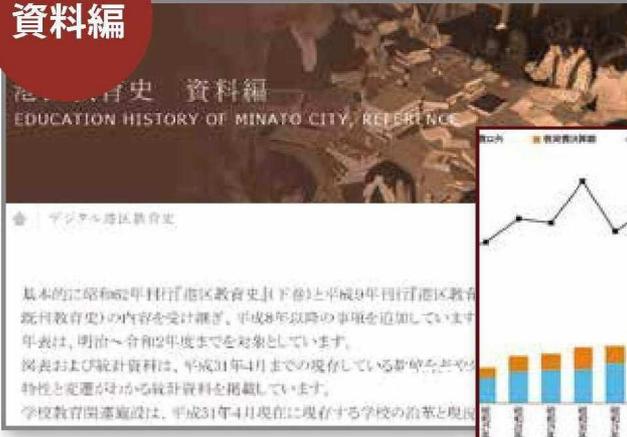
通史編
くらしと
教育編



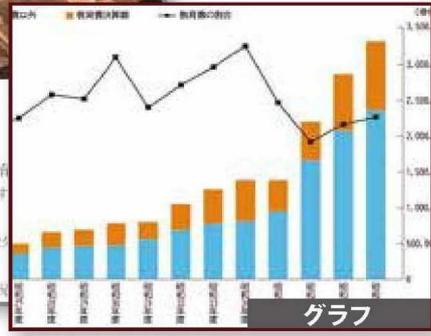
通史編・くらしと教育編では、新しい『港区教育史』をキーワード検索が可能な〈テキスト形式〉と、刊本の版面がそのまま閲覧できる〈刊本形式〉の2つの形式で公開しています。



資料編



資料編では、刊本の内容に加えて、刊本に掲載できなかった統計資料や行政文書なども公開しています。



年	1946	1947	1948	1949	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022																																																																																																								
人口	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700	1,750	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950	3,000	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	3,500	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	3,800	3,850	3,900	3,950	4,000	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	4,300	4,350	4,400	4,450	4,500	4,550	4,600	4,650	4,700	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200	5,250	5,300	5,350	5,400	5,450	5,500	5,550	5,600	5,650	5,700	5,750	5,800	5,850	5,900	5,950	6,000	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500	6,550	6,600	6,650	6,700	6,750	6,800	6,850	6,900	6,950	7,000	7,050	7,100	7,150	7,200	7,250	7,300	7,350	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600	7,650	7,700	7,750	7,800	7,850	7,900	7,950	8,000	8,050	8,100	8,150	8,200	8,250	8,300	8,350	8,400	8,450	8,500	8,550	8,600	8,650	8,700	8,750	8,800	8,850	8,900	8,950	9,000	9,050	9,100	9,150	9,200	9,250	9,300	9,350	9,400	9,450	9,500	9,550	9,600	9,650	9,700	9,750	9,800	9,850	9,900	9,950	10,000

見る
知る
伝える



「見る・知る・伝える～港区教育アーカイブ～」では、編さん過程で発見された貴重な歴史資料や映像、幼稚園・学校の変遷図などを公開しています。3つの入り口(子どもたちの学びの歴史/区民とあゆむ学びの歴史/港区の教育史)からご覧いただけます。



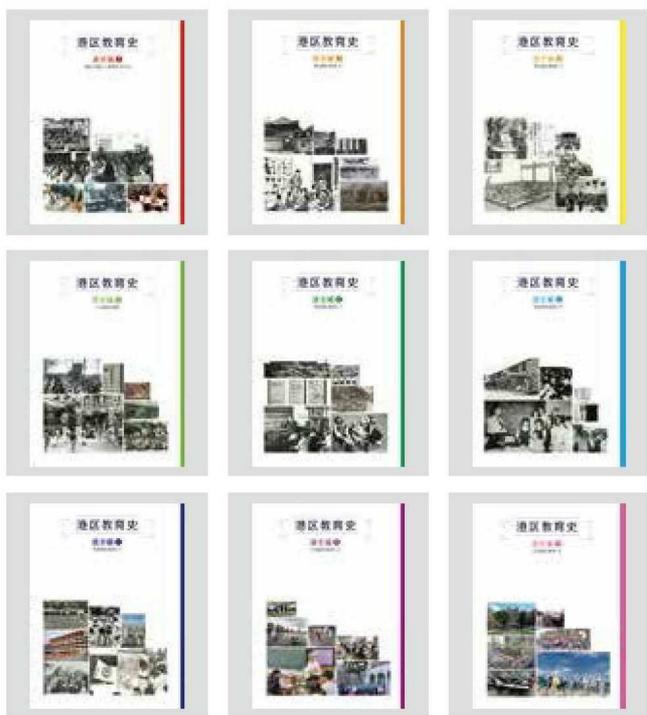


全
巻
刊
行

港区教育史

港区の地における150年を超える教育のあゆみを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすく、後世に語り継いでいける港区教育史を編さんしています。

第1巻～第9巻



第1巻～第7巻

昭和62年に刊行した『港区教育史』(上・下巻)に、注釈とコラムを追加しています。

第1巻 港区の風土と教育のあゆみ

第2巻・第3巻 明治期の教育

第4巻 大正期の教育

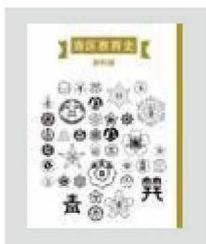
第5巻～第7巻 昭和期の教育

第8巻・第9巻 平成期の教育

第8巻 概説/幼児教育の再編/小学校教育の再編/中学校教育の再編/特別支援教育の展開

第9巻 諸学校の状況/教職員の状況/教育行政の改革/生涯学習の推進

第10巻 資料編



昭和62年に刊行された『港区教育史』(下巻)と平成9年に刊行された『港区教育史』(資料編2)の内容を受け継ぎ、平成8年以降の事項を追加しています。

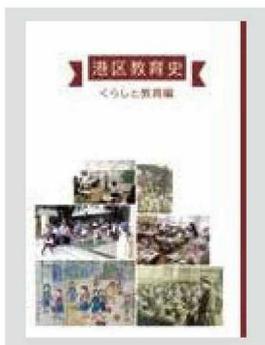
- ▶ 明治元年から令和2年度までの教育史年表
- ▶ 地域特性と変遷がわかる図表および統計資料
- ▶ 学校教育関連施設
区立幼稚園・小学校・中学校の沿革と現況 ほか

販売場所

港区役所3階区政資料室
麻布地区総合支所
赤坂地区総合支所
高輪地区総合支所
芝浦港南地区総合支所
港区立郷土歴史館

価格 各巻3,500円

第11巻 暮らしと教育編



区民の暮らしと教育との関係や、地域と学校との関わり、子どもの様子といったかけがえのない歴史を、7人の執筆者が学校に保管されていた史資料を丹念に調査し、14のテーマからひも解いています。

- ▶ 地域社会の変容と学校
- ▶ 近代教育のはじまり
- ▶ 子どもの就学の状況と行政・家庭
- ▶ 小学校における子どもの服装
- ▶ 生活・教育環境と学校建築
- ▶ 学校給食のはじまり
- ▶ 大正新教育と小学校
- ▶ 麻布区内幼稚園の戦中戦後
- ▶ PTAの活動と保護者の意識
- ▶ 危機から逃れていく子ども、逃れてくる子ども
- ▶ 戦後新学制と学校
- ▶ 新制中学校の校誌に現れた「座談会」
- ▶ 1964年東京オリンピックと学校教育
- ▶ 国際交流・国際理解教育

これからの港区の教育

『港区教育史』の編さんを通じて



こくによしひろ
小国喜弘先生
東京大学大学院教育学研究科教授
港区教育史編さん委員会 委員長

参加費無料

3/19日

13時30分開演
於・港区立伝統文化交流館

『港区教育史』(全11巻) 完結記念講演会

港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト表彰式同時開催



港区は、19世紀末以来の日本近代教育史において常に先進的な役割を果たしてきました。

『港区教育史』(全11巻)の完結を記念して、港区教育史編さん委員長の小国喜弘先生をお招きし、『港区教育史』の編さん過程や編さんを通して考えたこれからの港区の教育についてお話しいたします。

日時 3月19日(日) 13時30分開演
(13時開場、15時終了予定)

対象 どなたでも

会場 港区立伝統文化交流館
JR「田町」駅東口 徒歩8分
都営地下鉄「三田」駅 徒歩9分

人数 会場参加50名 (港区在住・在勤・在学優先で抽選)
オンライン参加可 ※事前申込要

申込 みなとコール **03-5472-3710**

港区ホームページの申し込みフォームからも申し込めます



募集 **会場参加**
1月20日(金)～3月6日(月) (受付時間:午前9時(初日は午後2時)～午後5時)
抽選結果は、3月9日(木)以降にハガキでお知らせいたします

オンライン参加
1月20日(金)～3月16日(木) 港区ホームページの申し込みフォームへ

〒105-8511
東京都港区芝公園1丁目5番25号
港区教育委員会事務局教育推進部教育長室
教育史編さん担当
TEL:03-3578-2829 FAX:03-3578-2759

協働 港区立伝統文化交流館

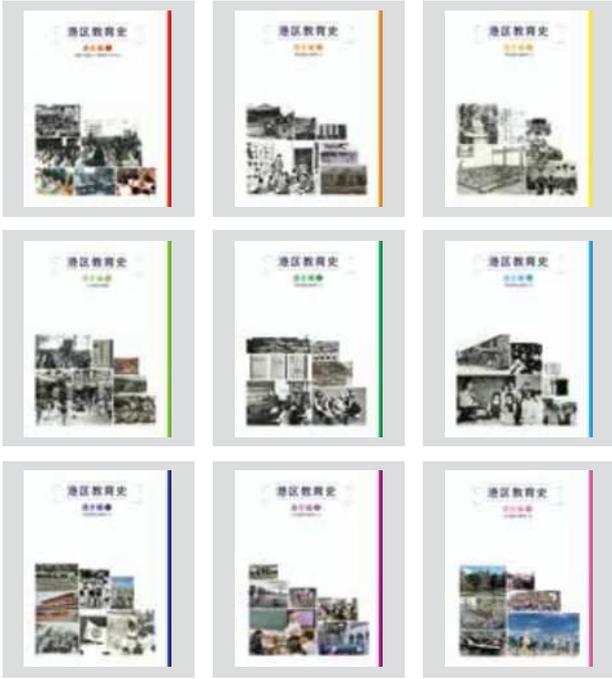


全
巻
刊
行

港区教育史

港区の地における150年を超える教育のあゆみを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすく、後世に語り継いでいける港区教育史を編さんしています。

第1巻～第9巻



第1巻～第7巻

昭和62年に刊行した『港区教育史』(上・下巻)に、注釈とコラムを追加しています。

第1巻 港区の風土と教育のあゆみ

第2巻・第3巻 明治期の教育

第4巻 大正期の教育

第5巻～第7巻 昭和期の教育

第8巻・第9巻 平成期の教育

第8巻 概説/幼児教育の再編/小学校教育の再編/中学校教育の再編/特別支援教育の展開

第9巻 諸学校の状況/教職員の状況/教育行政の改革/生涯学習の推進

第10巻 資料編



昭和62年に刊行された『港区教育史』(下巻)と平成9年に刊行された『港区教育史』(資料編2)の内容を受け継ぎ、平成8年以降の事項を追加しています。

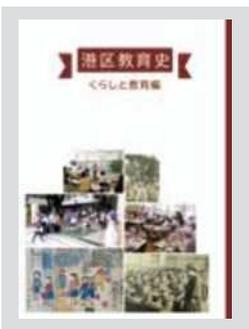
- ▶ 明治元年から令和2年度までの教育史年表
- ▶ 地域特性と変遷がわかる図表および統計資料
- ▶ 学校教育関連施設
区立幼稚園・小学校・中学校の沿革と現況 ほか

販売場所

港区役所3階区政資料室
麻布地区総合支所
赤坂地区総合支所
高輪地区総合支所
芝浦港南地区総合支所
港区立郷土歴史館

価格 各巻3,500円

第11巻 暮らしと教育編



区民の暮らしと教育との関係や、地域と学校との関わり、子どもの様子といったかけがえのない歴史を、7人の執筆者が学校に保管されていた史資料を丹念に調査し、14のテーマからひも解いています。

- ▶ 地域社会の変容と学校
- ▶ 近代教育のはじまり
- ▶ 子どもの就学の状況と行政・家庭
- ▶ 小学校における子どもの服装
- ▶ 生活・教育環境と学校建築
- ▶ 学校給食のはじまり
- ▶ 大正新教育と小学校
- ▶ 麻布区内幼稚園の戦中戦後
- ▶ PTAの活動と保護者の意識
- ▶ 危機から逃れていく子ども、逃れてくる子ども
- ▶ 戦後新学制と学校
- ▶ 新制中学校の校誌に現れた「座談会」
- ▶ 1964年東京オリンピックと学校教育
- ▶ 国際交流・国際理解教育

港区教育史



<https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/>

